

18

noteの売上・アクセス数の確認
と収益受取り方法

MOVIE

収益を受け取るまでの流れを解説

noteで記事を販売し、収益を得た際に「売上はどこで確認するの?」「振込申請の方法が分からない…」といった疑問を持つ方も多いのではないのでしょうか。

この記事では、noteの売上確認方法、振込申請の手順、振込先の登録方法、手数料の詳細、アクセス状況の確認方法まで、収益を受け取るために必要な知識を詳しく解説します。

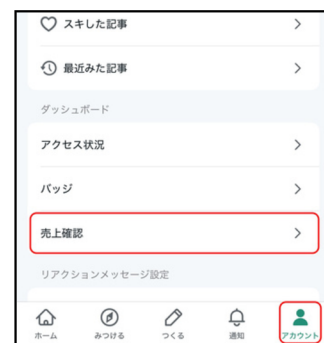
無料マガジンの活用アイデアと設定方法

まずはじめに、noteでの売上確認の方法から紹介していきます。

STEP : 01

メニューから「売上確認」をタップする

アプリを開いて、画面下のアイコンから「アカウント」をタップします。するとメニュー一覧が表示されるので、その中から「売上確認」をタップします。



「パスワードの確認」画面が表示されるので、noteにログインする際のパスワードを入力して、「確認して続ける」の緑色のボタンをタップします。



STEP : 02

「売上確認」画面を開く

開いたページの画面上部には「売上管理」「振込管理」「販売履歴」という3つのタブがあり、最初に開くのは、左側のタブの「売上管理」の画面になります。



STEP : 03

今月の「売上金額」と「振込可能金額」を確認する表示された画面には「今月の売上」という項目があり、この緑色の帯の総額というところに、その月の1日から月末までの有料記事の売上合計が表示されています。

たとえば、3月1日から3月31日までに300円の記事が2つ売れば、ここには600円と表示されます。

今月の売上の下に「振込可能金額」と表示されていたら、先月までの売上金額から各手数料を差し引いた金額が表示されています。

この部分が「未振込の売上」と表示されている場合、その金額はまだnote側への手数料が差し引かれていない金額が表示されています。

振込申請を実際に行うと、「振込可能金額」の下に「処理済みの売上」が表示され、申請中や振込済みの金額が一覧で確認できます。



売上金額から差し引かれる各手数料は後ほど詳しく解説します！

STEP : 04

「振込管理」を確認する

次に画面の上にある「振込管理」をタップすると、振込処理の進捗状況が確認できます。

振込申請を行った売上に関して、売上期間、振込依頼日、振込予定日、そして現在の処理状況が一覧で表示されており、その右にある金額が実際に振込まれる金額になります。

金額の横にある3つの点 (...) をタップすると、領収書と表示されます。

そこをタップすると、振込手数料の領収書が表示されるので、印刷することも可能です。



STEP: 05

「販売履歴」を確認する

そして、3つ目のタブ「販売履歴」には、購入者のユーザー名、記事タイトル、金額、購入日などが表示されています。

右側の3つの点（…）をタップすれば、ここでは、領収書が表示されます。

さらに横にある「返信する」ボタンは、購読のお礼メッセージをすぐに送信することができるようになっています。

お礼メッセージを入力できるポップアップが表示されて、メッセージを入力すればすぐに送信できる仕組みになっています。



noteの販売手数料について

ここで、noteの販売手数料について詳しく説明しておきます。

noteでは、有料記事の売上から、サービス利用料と振込手数料が引かれます。このサービス利用料には「事務手数料」と「プラットフォーム利用料」の2種類があります。

1. サービス利用料の事務手数料

まず、「事務手数料」は、読者の支払い方法によって異なります。

- クレジットカード: 5%
- キャリア決済: 15%
- PayPay: 7%
- noteポイント: 10%
- PayPal: 6.5%

2. サービス利用料のプラットフォーム利用料

事務手数料を引いた後の金額に対して、有料記事や有料マガジンの販売ごとに10%が差し引かれます。

たとえば、1000円の有料記事を販売し、読者がクレジットカードで支払った場合、1000円の5%、つまり50円が「事務手数料」として差し引かれ、残った950円に対して10%、つまり95円が「プラットフォーム利用料」となります。

結果として、1000円の売上に対して合計145円のサービス手数料がかかる計算になります。

3. 振込手数料

さらに、振込申請を行うと、1件ごとに振込手数料が270円引かれるため、1000円の売上で振込申請をした場合、手数料を差し引くと振り込まれる金額は585円となります。

また、読者の決済方法によって事務手数料が異なるため、同じ有料記事でも受け取れる売上額が変動することに注意が必要です。

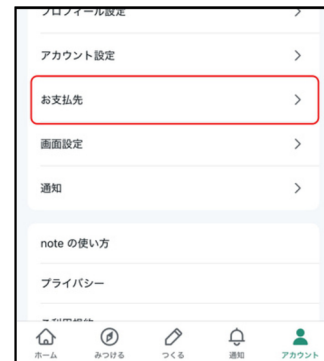
手数料の詳細が気になる場合は、noteの「今月の売上」画面の「販売履歴」で、その都度確認してみてください。

振込先の登録方法

売上の確認方法や各手数料が分かったら、次は「振込先の登録」を済ませておきましょう。
振込先の登録は一度行えば何度も入力する必要はなく、売上金をスムーズに受け取る準備が整います。

STEP : 01

メニューから「お支払先」をタップする
アプリを開いて、画面下のアイコンから「アカウント」をタップして、メニュー一覧から「設定」にある「お支払先」をタップします。



STEP : 02

お支払先の画面が表示される
お支払い口座が未登録になっているので、右側の「変更」をタップします。



「自動振込申請設定」という欄がありますが、売上が一定額上がるようになってから設定しましょう。



STEP : 03

内容を入力して「保存」をタップする
振込に必要な項目が入力できるフォームが表示されるので、順番に入力していきます。



すべての項目が入力できたら、画面の一番下にある「保存」ボタンの色が変わるので、タップして保存します。

※振込先に関する情報なので、特に口座番号や口座名義のカナ入力は間違えないよう慎重に入力しましょう。



振込申請の手続きについて

振込申請の手続きの方法について紹介します。

STEP : 01

「売上確認」の画面を開く

振込申請の手続きは、先ほどの売上確認の画面から行います。

ログインパスワードを入力して開きます。



STEP : 02

「振込可能金額」を確認し、振込申請する

今月の売上の下の表示が「振込可能金額」となっていたら、その右側に「振込申請」というボタンが表示されます。

そのボタンをタップします。



「振込可能金額」の部分が「未振込の売上」となっている場合は、まだ振込申請ができないので、表示が変わるまで待ちましょう！



STEP : 03

確認画面で金額を確認し申請する

「振込申請」の確認画面が表示されるので、表示されている金額で問題なければ、「申請する」という緑色のボタンをタップします。

「振込申請が完了しました。」と表示されたら、振込申請は完了です。



STEP : 03

処理済みの売上に振込申請した内容が表示される
今月の売上画面では「振込可能金額」が「未振込の金額」という表示に変わり、総額が0円になります。その下の「処理済みの売上」に振込申請した金額と支払い日、状況が表示されるので確認してください。



振込申請の際の注意点

振込申請を行う際には、以下の3つのポイントに注意しましょう。

1. 最低振込額の設定

noteでは、振込申請が可能なのは1,000円以上の売上がある場合のみです。売上は毎月2日に確定され、その後の申請タイミングによって振込日が変わります。

【振込スケジュール】

- 毎月2日～20日までに申請 → 当月末に振込
- 毎月21日～翌月1日までに申請 → 翌月末に振込

例えば、3月21日～4月1日 に振込申請を行うと、3月1日確定分までの売上が 4月末に振り込まれます。

2. 振込申請後の制限

1回の振込申請が完了するまで、次の申請は行えません。まとめて申請する場合は、売上確定のタイミングを考慮しながら、計画的に申請しましょう。申請後に新しい売上が発生しても、次の申請まで待つ必要があります。

また、売上の預かり期限は180日間で、期限を過ぎると、未払いの売上が翌月末までに自動振込されます。

振込口座が未登録の場合は、Amazonギフトカードで支払われる仕組みになっています。その場合、振込手数料はかかりませんが、サービス利用料は差し引かれます。

売上が1,000円未満の場合でも、Amazonギフトカードで支払いが行われます。

Amazonギフトカードが発行されると、売上確認画面の「振込管理」タブに「Amazonギフトカード発行済」と表示され、ギフトカード番号を確認できます。

アクセス状況の確認と分析方法

売상을安定して伸ばしていくためには、アクセス状況の確認と、そのデータをもとにした分析が重要になるので、売上の確認と合わせて、「アクセス状況の確認と分析方法」についても簡単に紹介しておきます

1. アクセス状況の確認方法

STEP : 01

メニューから「アクセス状況」をタップする
アプリを開いて、画面下のアイコンから「アカウント」をタップして、メニュー一覧から「アクセス状況」をタップします。



STEP : 02

アクセス状況でビュー数やスキを確認する
「全体のビュー」では、note全体でどのくらいのページビューがあったかがわかります。
「コメント」と「スキ」の数も表示され、ページごとにも確認できます。



STEP : 03

月ごとや週ごとのビュー数やスキの数も確認できる
アクセス状況は、画面上部で「週」「月」「年」「全期間」ごとに切り替えて確認ができます。
たとえば、「月」をタップすると過去1ヶ月間のアクセス状況が表示され、この1ヶ月で特に人気のある記事が確認できます。



表示はビュー数が多い順になっているため、最も人気のある記事が一番上に表示されます。どの記事が読者に特に響いているのかがひと目でわかります。

2. アクセスデータを活用するポイント

売上のチェックやアクセス状況の確認は、noteでの収益化において重要です。

売上が増えたときは、その要因を考えましょう。SNSでのシェア、検索エンジンの影響、話題性のあるテーマの選定など、様々な要素が関係している可能性があります。

アクセスデータを定期的に確認し、どの記事が収益化に貢献しているかを分析することで、今後のコンテンツ作成に活かします。特に、よく売れている記事の特徴を把握し、関連テーマを深掘りすることで、さらに売上を伸ばせる可能性があります。

また、単にビュー数を追うのではなく、「ビュー数が少なくてもスキが多い記事」「ビュー数は多いがスキが少ない記事」など、読者の関心や満足度も考慮しましょう。人気記事の傾向を理解し、タイトルや内容の工夫を行うことで、より多くの読者を惹きつけることができます。

アクセスデータの活用は、読者のニーズを把握し、記事の質を向上させる手助けになります。データを活かして継続的に改善を重ね、収益を安定させていきましょう。

まとめ | noteの収益化を成功させるために

noteでの収益を受け取るためには、売上の確認、振込申請、口座登録、手数料の理解が欠かせません。また、アクセス状況を把握することで、より効果的な記事作成が可能になります。

収益化の仕組みをしっかりと理解し、定期的な確認と分析を行いながら、安定した収益を目指していきましょう！

